

「救急の日」と「救急医療週間」～9月9日は救急の日です。～ 今年は9月5日（日）～9月11日（土）を「救急医療週間」と定めています。

「救急の日」と「救急医療週間」は、救急業務及び救急医療に対する正しい理解と認識を深め、救急医療関係者の意識高揚を図ることを目的に昭和57年に定められました。

以来、9月9日を「救急の日」、この日を含む一週間（日曜日から土曜日まで）を「救急医療週間」とされています。



○和歌山県救急医療情報センター

救急車を呼ぶほどでもなく、かかりつけ医が不在でどここの医療機関へ行ったらいいのかわからないときに24時間体制で最寄りの医療機関を案内してくれます。

◎救急用電話番号『073-426-1199』 ※歯科の診療時間外の案内は行っていません。

○子ども救急相談ダイヤル

夜間や休日に子どもが急病になったとき、すぐに病院へ行った方がいいのか、様子を見て大丈夫かなど判断に困ったときに看護師（必要に応じて医師）が相談に応じてくれます。

◎携帯電話・プッシュ回線『#8000』 ◎ダイヤル回線・IP電話『073-431-8000』

※平日は、午後7時から翌朝9時まで

※土日祝日・年末年始は、午前9時から翌朝9時まで

○救急受診アプリ（愛称『Q助』）

急病やけがで救急車を呼んでいいのか、自分で病院を受診すべきかの判断を助けてくれるアプリです。

利用無料で個人情報等の登録は必要ありません。スマートフォンの配信サービスからダウンロードして利用できるほか、パソコンでは消防庁のホームページから利用できます。

救急車を呼ぶかどうか迷ったときに役立つアプリですのでご利用ください。

幼年消防用鼓笛隊セットが整備されました。

御坊市幼少年婦人防火委員会では、一般財団法人 自治総合センターの宝くじの助成を受け、幼年消防クラブの育成として幼年消防用鼓笛隊セットを御坊幼稚園幼年消防クラブに整備しました。

今後の地域防災を担う幼年消防クラブ員が、防火思想の普及啓発を目的とした防火パレード等で使用します。



コミュニティ助成事業は、一般財団法人 自治総合センターが、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として地域社会の健全な発展と住民福祉の向上を目的として、コミュニティ活動への助成を行う事業です。

